

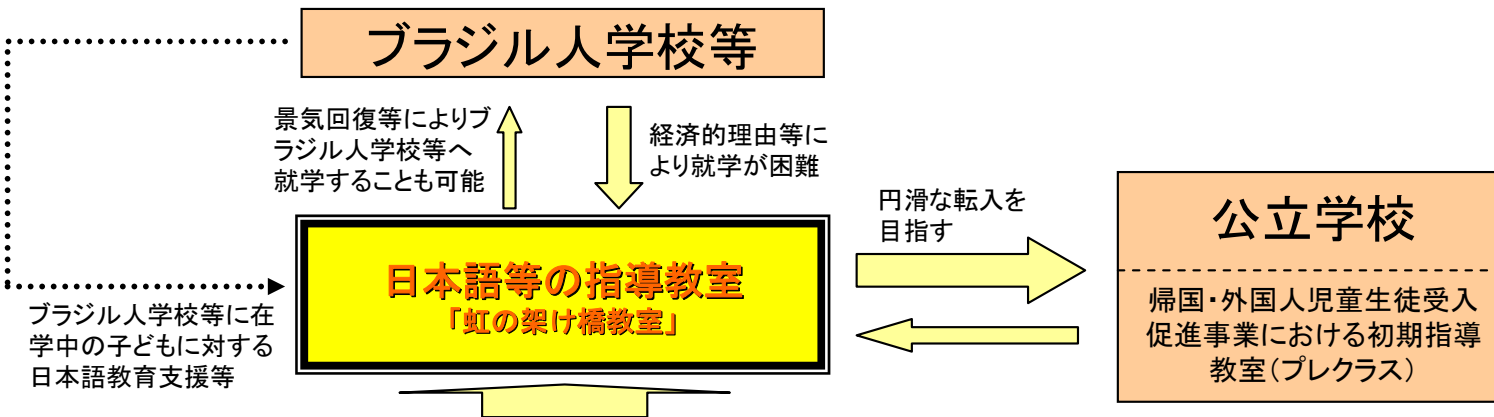
# 定住外国人の子どもの就学支援事業

平成21年度補正予算額: 約37億円

## 概要

- ・昨今の景気後退により、不就学・自宅待機となっているブラジル人等の子どもに対して、日本語等の指導や学習習慣の確保を図るための場を外国人集住都市等に設け、主に公立学校への円滑な転入が出来るようにする。
- ・また、ブラジル人等の子どもを中心としたブラジル人等コミュニティと地域社会との交流を促進する。
- ・本事業は、景気後退が回復するまでの緊急措置として3年間の計画で実施する。

## ブラジル人等の子どものための日本語指導等の実施



○役割：ブラジル人学校等・公立学校にも通っていない子どもを対象に日本語指導等を実施。（ブラジル人学校等に在籍する子どもも受入れ可能）また、ブラジル人等の子どもを中心とした地域社会との交流事業を実施。

○対象：義務教育段階の子ども等

○期間：原則6ヶ月程度

○場所：外国人集住都市等において実施

○内容：

・日本語指導等を行う教員等

日本語指導や教科指導

・バイリンガル指導員（ブラジル人教員等も含む）

ポルトガル語等の母語指導と教科指導の補助

・コーディネーター等

ブラジル人等の子どもの公立学校への受入促進、地域社会との交流の促進等

## 文部科学省

拠出金支出

国際移住機関(IOM)  
＜「子ども架け橋基金」の設置＞



## 地方公共団体等(外国人集住都市等)

不就学・自宅待機のブラジル人等の子どもの受入れ  
・日本語等の指導  
・学習習慣の確保



日本語等の指導教室  
「虹の架け橋教室」

